

(別紙)

東北農業研究センターの菜の花畑を公開！

農研機構東北農業研究センターは、国内唯一の公設のナタネ育種機関として、北海道から九州までの各地に適応した、食用油として利用可能なナタネの品種開発に取り組んでいます。また、当研究センターでは、麦育種試験圃場における連作障害防止等のための緑肥作物としても、大面積でナタネ（菜の花）を作付けしています。広い「菜の花」畑は、満開になると黄色いじゅうたんのようになり、残雪を頂く岩手山ともマッチして、来訪者の目を楽しませてくれます。

今年は5月17日前後に見頃を迎えると予想し、下記により「菜の花公開」を実施しますので、菜の花の景観をお楽しみ下さい。

記

1. 日 時：平成26年5月17日（土）～18日（日）
両日とも 9:00～16:00(受付は15:50まで)
2. 場 所：農研機構東北農業研究センター（盛岡市下厨川字赤平4）
3. 公開内容
 - 1) 菜の花畑
 - ・公開面積：380アール
 - ・作付品種：キラリボシ
 - 2) 研究成果等の紹介
 - ・平成25年度の主要な研究成果（パネル展示）
 - ・震災復興支援技術（パネル展示）
 - ・麦、ナタネの開発品種（パネル展示）
 - ・ナタネの播種・刈り倒し用の機械展示
 - ・菜種油の食味試験（17日のみ）
 - ・菜種油特産品などの販売
 - ・岩手県環境学習広報車による展示・体験コーナー（18日のみ）
4. その他
 - 1) 入場、駐車場は無料です。
 - 2) 駐車場へは係員が誘導します（所内道路は、通行規制があります）。
 - 3) 犬の散歩は禁止、構内は全面禁煙です。
 - 4) 後作の関係で、菜の花は公開終了後、順次刈り倒す予定です。

○東北農業研究センター菜の花公開ホームページ

<http://www.naro.affrc.go.jp/event/list/2014/04/052061.html>

用語の解説

キラリボシ：東北農業研究センターが平成14年に育成した、日本で初めての实用栽培可能なダブルロー（種子中にエルシン酸を含まず、グルコシノレートの少ない）品種。東北中南部が最も栽培に適しています。

ダブルロー品種：種子中に含まれるエルシン酸とグルコシノレートの、二つ（ダブル）の成分が少ない（ロー）品種を言います。

エルシン酸：脂肪酸の一種で、ナタネの従来品種の種子から搾油した油に多く含まれます。動物実験において、多量に摂取すると心疾患を引き起こすことが報告されています。

グルコシノレート：ナタネの油を絞った後の油粕に含まれる成分で、油粕を家畜（鶏や豚）の飼料として利用したときに甲状腺肥大などを引き起こすことが報告されています。

緑肥：栽培している植物を収穫せずに、そのまま植物と土と一緒に耕し（すき込み）後から栽培する作物の肥料にすること。東北農業研究センターではナタネ、エンバク等を緑肥作物として作付けしています。